

7月24日、特定非営利活動法人環境リレーションズ研究所、森林所有者、大崎森林組合と「Present Tree in みやぎ大崎」森林整備協定を締結しました。

今回で4回目となる協定の締結により、世界農業遺産「大崎耕土」の水源地である鳴子温泉地域鬼首地区の市有林8・76ヘクタール、私有林9・57ヘクタールにおいて、4者共同で今後15〜20年間にわたる森林整備を行います。

環境リレーションズ研究所が実施する「Present Tree」事業は、企業や個人が寄付をすることで、苗木の里親となり、スギやヒノキなどの伐採跡地に苗木を植えて森を再生させる取り組みです。植樹後は、現地の森林組合が育成・管理を行います。

本事業は、植樹を通じた市民と都市生活者との交流事業でもあり、本市の魅力発信にもつながっています。平成26年度以降、鳴子温泉地域の森

林約20ヘクタールに植樹した本数は、2万8千本を超えています。

今後、本市の豊かな地域資源を末永く未来に継承するため、継続して森林整備を行ってまいります。



▶左から森林所有者原植林組合組合長高橋敏仁氏、伊藤市長、環境リレーションズ研究所理事長鈴木敦子氏、大崎森林組合代表理事組合長古内公雄氏

CITY TOPICS

まちの話題や出来事、ニュースをお届けします！

7月28日、大崎市役所を会場に、第28回おおさき中学校生徒会サミットが開催されました。

昨年まではオンラインでの開催でしたが、今回のサミットは4年ぶりに参加しての開催となり、市内11の中・義務教育学校から、36人が参加しました。

サミットは「私たち中学生の#おおさき未来SDGs」をテーマとし、第一部は「懇親の部」、第二部は「話し合いの部」と題した二部構成で進められました。

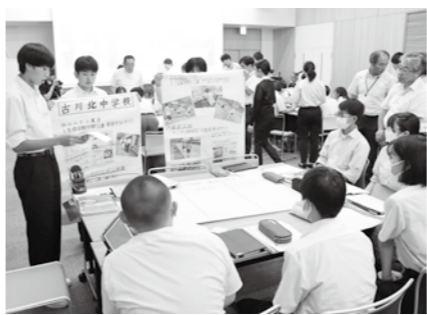


▲久しぶりに集まって開催できました

第一部の「懇親の部」では、自作した名刺の交換会やミニゲームなどで親交を深めた後、各学校の紹介や活動報告をしました。

第二部の「話し合いの部」では、昨年度からの継続の課題である、「メディアコントロール」についての取り組みを報告しました。また、「SDGs」に関する各校の取り組みを紹介し合い、自分たちができること、課題とすることについて、意見を交換しました。

今後、取り組みを進め、1月に開催される次回のサミットで経過を報告します。



▲これまでのがんばりを報告しました

ひまわり円盤投げ サマーフェスティバルが開催されました

8月13日、三本木総合体育館駐車場で、「ひまわり円盤投げ サマーフェスティバル」が開催されました。

メインイベントのひまわり円盤投げは、昨年は豪雨の影響により秋に開催したため、ひまわりの造花を投げていましたが、今年は本物のひまわりを使って行われました。参加者たちは、一つ一つ形や大きさの違うひまわりを遠くに投げるのに苦戦していましたが、40メートルを超える大遠投が飛び出ると、会場には大歓声が沸きました。



◀遠くをめがけて投げる参加者

そのほかステージイベントでは、子どもたちによる保食八幡太鼓や、愛燦舞によるよさこい踊りが披露され、最後には抽選会が行われるなど、会場は終始暑さに負けない盛り上がりを見せました。

8月の主な出来事

- 2日 ● おおさき花火大会2023
- 3日 ● 第75回おおさき古川まつり（〜4日）
- 5日 ● おおさき生きものクラブ10周年記念フォーラム
- 13日 ● ひまわり円盤投げ サマーフェスティバル
- 14日 ● 第43回大崎市鹿島台わらじまつり
- 2023まつやま夏まつり

2023まつやま夏まつりが開催されました

8月14日、松山公民館で「まつやま夏まつり」が開催されました。4年ぶりの開催となったこの日は、時折雨が降ることもありましたが、多くの人でにぎわいました。

会場では、松山太鼓や松山中学校の吹奏楽による演奏、金津流松山獅子舞や松山ばやし披露され、観客からは大きな拍手が送られました。また、子どもたちがみこしを担いで松山中央商店街を練り歩いたほか、提灯七夕が飾られ、商店街全体が優しい明かりに包まれました。

終盤には、輪になって盆踊りを踊ったほか、豪華景品が当たる抽選会も行われ、子どもから大人まで楽しいひと時を過ごしていました。



▲音楽に合わせて軽やかに踊りました

鹿島台わらじまつりが開催されました

8月14日、鹿島台瑞・華・翠交流施設（鎌田記念ホール）で「第43回鹿島台わらじまつり」が開催されました。

今年は、鎌田三之助翁生誕160年の節目の年であり、4年ぶりの復活が期待された名物の「わらじパレード」は、残念ながら雨天のため来年に持ち越しとなりましたが、不安定な天候の中、会場にはたくさんの方が足を運び、出店やステージイベントなどを楽しんでいました。

恒例のビンゴ大会には、約1,400人が参加し、番号が読み上げられるたび、「よし!」や「リーチ!」などの歓声上がり、会場は雨にも負けず熱気に包まれていました。

終盤には雨も上がり、鹿翔会の勇壮な鹿島台太鼓がステージイベントを締めくくり、祭りの最後は、大輪の花火が夜空を彩りました。



◀迫力満点の太鼓の音色が響き渡りました

Discover OSAKI

おらほのニュース 発信します!